

講義名	対2) 発育発達論			授業形態	
担当教員	北村 裕美	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、ヒトの誕生から成長、成熟、老化といった各過程における身体的、心理的、社会的特徴について学習する。特に、発育期における運動遊びの重要性やスポーツ外傷・障害予防の考え方について、最近の知見を紹介しながら概説する。

到達目標

発育、発達、加齢に伴う身体変化について、説明できるようになる。
現代の子どもの諸問題について、説明できるようになる。

提出課題

確認テスト（毎授業時に行います）
コメントシート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

必要に応じて、個別に講評する。

評価の基準

期末試験・・・100%
* 授業実施時間数の3分の1以上（5回以上）出席した者は期末試験を受けることはできない。
* クラブ活動や就職活動による欠席は考慮しない。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、「健康運動実践指導者」受験資格取得に必要な科目である。
感染予防に向けた生活や受講ルールを遵守すること。
新型コロナウイルスの蔓延状況により、オンデマンド型授業になる場合がある。オンデマンド型授業ではMicrosoft Teamsに登録の上、授業動画はStream配信する。設定については、講義連絡で周知するので、確認し対応すること。著作権法の観点から、対面授業で提示する資料とは一部異なる場合がある点をご容赦ください。
毎授業後の確認テストはMicrosoft Formsにより実施し、授業があった週の土曜日23時まで回答を受け付ける。
オンデマンド型授業となった場合も、期末試験は対面で実施する。

教科書

.使用しない。

参考図書

.大人が知らない子どもの体の不思議.	神原 洋一	講談社	879	4062576163
.子どもの保健と安全演習ブック.	小林 玄他	ミネルヴァ書房	2750	462308910X

その他

<資料>
授業中に適宜配布する。
オンデマンド型授業の場合は講義連絡を通じて資料を配信する。

授業計画

- はじめに
- 発育・発達とは
- 乳幼児期の発育
- 乳児期の発達
- 幼児期の発達
- 学童期の発育
- 学童期の発達
- 子どもの健康と安全
- 思春期の発育
- 思春期の発達
- 青年期の発達
- 加齢・老化とは
- 中年期の加齢変化と健康
- 老年期の加齢変化と健康
- まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業計画に合わせて、自分の子どもの頃の体験を整理したり、家族や身近な大人に身体の変化について尋ねたりすること（2時間）。
復習：授業中に理解できなかった専門用語や内容は自分で調べたり、質問したりして理解を深めること（2時間）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、健康分野に関する基礎知識の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーに貢献する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業では、Microsoft Formsを使用する。

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者となり、一時的に通学が禁止となった場合は、解除後に課題学習などで個別対応する。